

TICKET INFORMATION

意外と知らなかった！お得なチケットパス情報！ 詳しくはWEBで

九州国立博物館 メンバーズプレミアムパス

九博の特別展を合計4回、他の国立博物館(京都・奈良)の特別展は団体料金※で観覧できます。また全国の国立博物館の平常展を何度でも観覧できます。
[料金]一般3,800円、学生2,500円
[有効期限]発行日から1年間

九州国立博物館 キャンパスメンバーズ

大学・大学院や短期大学、高等学校などの学校を対象とした博物館機能を教育に活用するための制度。会員になると、文化交流展(平常展)の無料観覧や特別展の割引観覧などの特典がつけられます。
[料金]一般2,500円、学生1,200円
[有効期限]発行日から1年間

国立博物館メンバーズパス

4つの国立博物館(九州・東京・京都・奈良)共通の会員制度。平常展は何度でも無料。九州・京都・奈良の特別展は団体料金※で観覧できます。
[料金]一般2,500円、学生1,200円
[有効期限]発行日から1年間

九州国立博物館友の会

九博の特別展を合計6回、他の国立博物館(京都・奈良)の特別展は団体料金※で観覧できます。また全国の国立博物館の平常展を何度でも観覧できます。
[料金]一般7,500円
[有効期限]発行日から1年間

九州国立博物館賛助会

九博の趣旨にご賛同いただける団体様・個人様向けの寄附会員制度です。収蔵品の購入や教育普及活動などを通じて広く文化振興のために活用されます。いただいたご支援に応じたサービスをご提供しております。

太宰府天満宮& 九州国立博物館共通チケット

太宰府天満宮の宝物殿及び菅公歴史館と、九博の平常展を観覧できます。通常価格で購入するよりも400円お得です。太宰府の歴史をたっぷり満喫。
[料金]一般1,000円

※団体料金設定のある特別展に限る。

ACCESS

- 車** 九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから高嶺交差点経由で約20分
- JR** JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用またはJR二日市駅からタクシーで約15分
- 西鉄バス** 博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分

西鉄電車 西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で太宰府駅下車、徒歩約10分
※特急/急行料金不要

駐車場の空き情報 九州国立博物館周辺の駐車場の空き情報がウェブでチェックできます。右記 QR コードで携帯電話からもチェックできます。※特別展会期中は混雑が予想されます。※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



身障者駐車場はどちらの入口からでも入れます。



太宰府天満宮横 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
www.kyuhaku.jp きゅーはく 検索

INFORMATION

- 開館時間** 9:30~17:00(入館は16:30まで)※夜間開館の実施についてはHPでご確認ください。
 - 休館日** 月曜日【ただし7月18日(月・祝)、8月15日(月)、9月19日(月・祝)は開館 7月19日(火)、9月20日(火)は休館】
 - 文化交流展観覧料** 一般/700円 大学生/350円(学生証等の提示をお願いします。)※特別展は別料金
- ※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。高校生以下・18歳未満及び満70歳以上の方、キャンパスメンバーズの方は、文化交流展について無料。展示室入口にて生年月日がかかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)、学生証、教職員証等をご提示ください。詳細についてはホームページ等をご確認ください。

ご案内NTTハローダイヤル(9:00~20:00/年中無休) **050-5542-8600** ※オペレーターが対応します。通話料が発生します。

メルマガ、ツイッターでも楽しい情報を発信しています。 [メルマガ](https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/) <https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/> [Instagram](https://www.instagram.com/kyuhaku_koho) @kyuhaku_koho [Twitter](https://twitter.com/kyuhaku_koho) @kyuhaku_koho

広告

太宰府 かさの家の家 茶房・ぎやらりー／笠乃家
てのこい家・Cafe kasanoya

0120-818-151 〒818-0117
太宰府市宰府2-7-24 (太宰府天満宮参道)

<http://www.kasanoya.com/>

九州国立博物館 季刊情報誌 Asiage [アジアージュ] vol.65 2022年7月1日発行 発行：九州国立博物館 本誌の全部または一部を無断で複製(コピー)することは禁じられています。

Asiage

九州国立博物館 季刊情報誌
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

[アジアージュ] 2022 SUMMER vol.65 無料

王国の至宝から
未来へ紡ぐ手わざまで

琉球

RYUKYU

特別展
沖縄復帰50年記念

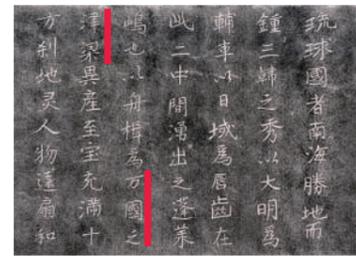
7月16日(土)~9月4日(日)

左上から時計回りに●国宝 黄色地牡丹尾長鳥流水葛蒲文様紅型縮緬袷(琉球国王尚家関係資料)(部分)/那覇市歴史博物館●重要文化財 銅鐘(旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘)/沖縄県立博物館・美術館●黒漆首里那覇港国准錦螺衝立(部分)/鹿児島県歴史・美術センター黎明館●国宝 金装宝剣拵(号 千代金丸)(琉球国王尚家関係資料)/那覇市歴史博物館●国宝 紅色地龍宝珠瑞雲文様紅型綾袷(琉球国王尚家関係資料)(部分)/那覇市歴史博物館●国宝 白地牡丹尾長鳥燕鷗葛蒲文様紅型平絹袷(琉球国王尚家関係資料)(部分)/那覇市歴史博物館

第一章 万国津梁 アジアの架け橋



琉球の鑄物師が小倉の鑄物師と協力してつくられました



重要文化財
銅鐘 旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘)
作者等 藤原国善作
時代 第一尚氏時代
年代・世紀 天順2年(1458)
所蔵 沖縄県立博物館・美術館
「万国津梁」とは「世界の架け橋」の意味。琉球王国の初期(日本の室町時代)に作られた銅鐘は海洋交易による王国繁栄の象徴。5世紀半以上に渡って沖縄を見守ってきた歴史の生き証人(物!?)なのです。「万国之津梁」と記した銘文は沖縄県知事の応接室にも掲げられており、今も県民にはおなじみの言葉だとか。

沖縄復帰 50年記念 特別展

琉球 RYU KYU

沖縄復帰50年。かつて栄華を誇った琉球国王・尚家の宝物をはじめ、沖縄ゆかりの国宝・重文を一挙公開。沖縄が誇る特色豊かな歴史と文化、その継承の営みから、未来に紡ぐ沖縄の「ちむぐる(大切な心)」をご堪能ください。



7/16(土) ▶ 9/4(日)

- 会期中、1~4期で多くの作品が替わります
- 1期 7月16日(土)~7月31日(日)
 - 2期 8月2日(火)~8月7日(日)
 - 3期 8月9日(火)~8月21日(日)
 - 4期 8月23日(火)~9月4日(日)

特別展の最新情報、限定グッズなどはツイッターでチェック!

国宝
黄色地鳳凰蝙蝠宝尽(4期)
青海波立波文様紅型綾袷衣裳(琉球国王尚家関係資料)
時代 第二尚氏時代
年代・世紀 18~19世紀
所蔵 那覇市歴史博物館
肩や背に鳳凰が舞い、腰から裾にかけては中国の官服に見られるコウモリや竹、子などの吉祥文様が染め抜かれた若い王族の正装衣裳。



文様にも各国との交流の影響が

代々受け継がれてきた王権のシンボル



国宝
三彩鴨形水注
時代 明時代
年代・世紀 16世紀
展示会初お目見え。鴨を型どった明るく華やかな「華南三彩」。琉球王国には中国をはじめ海外の文化が数多くもたらされていたことがわかります。

国宝
玉冠(付簪)(琉球国王尚家関係資料) 1期
時代 第二尚氏時代
年代・世紀 18~19世紀
所蔵 那覇市歴史博物館
計288個もの金・銀・水晶・珊瑚など7種類の飾玉が煌めく玉冠は、国王の正装用。簪には王権の象徴である龍の文様が刻まれています。

第二章 王権の誇り 外交と文化



国宝
金装宝剣拵(号 千代金丸) 3・4期
時代 [刀身]室町時代 [拵]第二尚氏時代
年代・世紀 [刀身]16世紀 [拵]16~17世紀
所蔵 那覇市歴史博物館



国宝
黒漆貝尽螺鈿漆絵硯箱 3・4期
時代 明治時代
年代・世紀 19世紀
所蔵 那覇市歴史博物館
巻貝や二枚貝などの貝尽文様を色鮮やかな螺鈿技法で表現した硯箱。具体的な貝の種類がわからないのもまた想像力をかきたてられます。



美しい!



国宝
空色地花籠燕文様 3期
紅型苧麻衣裳(琉球国王尚家関係資料)
時代 第二尚氏時代
年代・世紀 18~19世紀
所蔵 那覇市歴史博物館
紅型のなかでも尚家のものは「ピカイチ」です。まず、素材の苧麻には、とりわけ最高品質のものが使われています。さらに素晴らしいのは複雑な型を生地の両面から染めていること。その技術の高さは驚くばかりです。



王家の三宝刀がやってくる!



琉球王国統一の過程も示す貴重な作品です

鞘の全面に薄い金板を巻きつけ、華やかな飾り金具を施した「千代金丸」、黒漆塗りの鞘を持つ「治金丸」、螺鈿による繊細な装飾が美しい「北谷菜切」は、いずれも古くから琉球に伝わる名刀。それぞれに個性的な拵とエピソードを楽しんでください。

国宝
黒漆差拵(号 治金丸) 1・2期
時代 [刀身]室町時代 [拵]江戸時代
年代・世紀 [刀身]16世紀 [拵]17世紀
所蔵 那覇市歴史博物館

国宝
青貝螺鈿鞘腰刀拵(号 北谷菜切) 1・2期
時代 [刀身]室町時代 [拵]第二尚氏時代
年代・世紀 [刀身]15世紀 [拵]16~17世紀
所蔵 那覇市歴史博物館

第三章 琉球列島の先史文化

重要文化財
貝匙 通期
時代 貝塚時代後期
年代・世紀 6~7世紀
所蔵 奄美市立奄美博物館
南海に生息する大型の巻貝、ヤコウガイを加工して作った「貝匙」。平安時代の日本人にも人気で、お酒の杯として愛されたそうです。



蝶形骨製品 通期
時代 縄文時代晩期
年代・世紀 前1000~前400年
所蔵 読谷村教育委員会
縄文時代の琉球列島ではクジラやイルカ、ジュゴンなどの海獣が食料になるとともに道具の素材にもなりました。翅を広げた蝶を思わせる装身具は、ジュゴンの肩甲骨で作られたもの。

豊かな海の恵みを活かして暮らしの軌跡です



しまの人びとと祈り



琉球風俗図(部分) 1・2期
 時代 明治時代
 年代・世紀 19世紀
 所蔵 九州国立博物館
 婚礼や葬礼などのシーンが生き生きと表現され、当時の市井の人々の暮らしぶりや習慣がうかがえます。服装や髪型、かんざしなどの装飾品まで細やかに描きこまれていますよ。



玉ハベル(通期)
 時代 江戸時代または第二尚氏時代
 年代・世紀 17~18世紀
 所蔵 個人蔵
 ガラス玉を編んだ帯に三角形の布を付け、水晶の玉をつないで勾玉を付けた装身具。女性祭祀者「ノロ」が身に付けました。

「ハベル」は三角形の布。蝶や蛾などを意味しています。

未来へ



大龍柱は沖縄戦で破壊された首里城の生き残りです。



大龍柱(旧首里城正殿前) 通期
 時代 第二尚氏時代
 年代・世紀 康熙50年(1711)
 所蔵 沖縄県立博物館・美術館

首里城正殿前の左右に配されていた大龍柱は、沖縄戦で破壊された首里城の生き残り。戦火をくぐり抜けた力強い姿を、首里城復興への強い想いと重ねて。



黒漆首里那覇港図堆錦螺釘衝立 通期
 作者等 [原画] 比嘉華山 [木地制作] 玉城サンルー [髹漆・加飾] 友寄英茂、亀島汝翼ほか
 年代・世紀 昭和3年(1928)
 所蔵 鹿児島県歴史・美術センター黎明館

近代化によって伝統技術が先細っていくなか、昭和初期に残された技術を結集して作り上げた琉球堆錦。片面に那覇港、もう一面に首里城の中山門が立体的に表現されています。両面とも、じっくりご覧ください。



必見も那覇港の

4階文化交流展示室

vol.13 美術ライター橋本さん注目の収蔵品

琉球風俗図屏風

展示期間 (右隻)8/2(火)▶9/11(日)まで (左隻)9/13(火)▶10/23(日)まで
 作者 比嘉盛清(華山)筆
 年代・世紀 明治~昭和時代 20世紀
 所蔵 九州国立博物館

美術ライター
橋本麻里さん
 日本美術を主な領域とするライター・エディター。公益財団法人永青文庫副館長。昨年12月に新著「かざる日本」(岩波書店)を刊行。
 twitter:@hashimoto_tokyo

4階文化交流展示室にて展示しています。



《左隻》



《右隻》

近代以後の「琉球」の描き方

近世の琉球王府には、中国や日本の優れた絵画コレクションがあったとされる。それらの影響を受け、また薩摩、京の絵師に学んだ者、王府に命じられて中国・福州へ派遣されて学んだ者たちが、琉球絵画を豊かに発展させた。

しかし琉球王国が450年の歴史に幕を下ろしたことで、琉球絵画もいったんは途絶。比嘉盛清(華山)はその後もなお宮廷画家の画風を引き継いで活動していたが、沖縄師範学校の美術教師として派遣された日本画家の山口辰吉(瑞雨)が画壇をリードするようになると、日本画の技法を採り入れ

ながら、琉球風俗や琉球美人など「日本本土から求められる沖縄らしさ」を前面に押し出した作風へと変化していく。

本作は琉球の風俗や物語をモチーフに12点の絵を押し絵貼屏風にしてある。天女から正装した士族、漁師の夫婦まで、描かれるのは身分、年齢、虚実もさまざまな男女。右隻1扇目の泡盛売りの老女の前に並べられた、泡盛用の陶製酒器である耐家、その手元に施された「ハジチ」と呼ばれる入墨など、明治以降の作品ながら、王朝時代の風俗をリアリティを持って表現している。

女性の手の甲に深青色で文様を施した入墨(ハジチ/針突)は1899年に禁止令が出された。



九博トピックス “地域・市民とともに歩む博物館”の象徴「九州国立博物館ボランティア」

博物館の役割に応じて多くの活動分野！
博物館はボランティアの熱心な活動によって支えられています！



交流課
上野 光裕さん

九州国立博物館ボランティアは今年で発足から17年目。現在第5期と6期の計248名で活動しています。特徴は2つ。ひとつは博物館の役割に応じて多くの活動の種類があること。その数なんと9分野(12部会)。展示解説や施設

案内はもちろん、資料整理やイベントの企画なども行っています。もうひとつは自主性・主体性を重視していること。来館者サービスのために自分達ができることをそれぞれの部会で検討・協議し、活動内容を決めていきます。

コロナの影響で約2年間活動を休止していましたが、この5月から本格的に活動を再開しました。ご来館の際は黄色のストラップをかけたボランティアに気軽にお声かけいただき、一緒に博物館を楽しんでください。

9分野12の部会のボランティアが活動しています！

館内案内
施設案内、
バックヤードツアー案内



- 日本語
- 英語
- 中国語
- 韓国語

多言語も対応します！

教育普及

あじっばにおける展示物の案内・体験サポート



フィールド

館周辺の自然環境整備



九博は自然環境も魅力！

展示解説

文化交流展示室の展示物の案内



イベント・サポート

来館者イベントの企画・実施
ボランティア広報誌の制作



資料整理

郷土人形などの調査・資料作成



郷土人形収集家の方から寄贈された13,000点の調査整理を行いました

学生

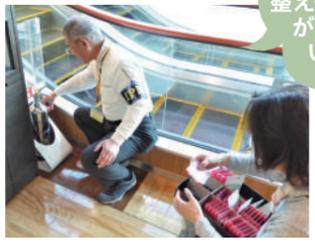
子ども向けワークショップの企画・実施



高校生・大学生ボランティアも活躍！

環境

館内の環境保全活動の補助



館内の環境を整え守るためにがんばっています！

手話

手話による聴覚障害者へのサポート



地域の手話グループからスタートしました

SHOP ミュージアムショップ

手触り抜群！ヤンバルクイナのぬいぐるみ

沖縄の山原(やんばる)地域のみで生息するほとんど飛べない鳥ヤンバルクイナのぬいぐるみ。どちらも独立して立つことができます！ふわふわの触り心地です。是非お迎えください！

A ヤンバルクイナ
ぬいぐるみ
キーチェーン
販売価格1,650円
サイズ:約W9×D15×H17cm

B ヤンバルクイナ
ぬいぐるみ
販売価格2,860円
サイズ:約W12×D29×H28cm



TOWN てのぐい家

夏のお出かけに、お供は手拭いで！

身近で伝統的な日本の日用品の一つ「手ぬぐい」。『てのぐい家』では日本の四季や風土が散りばめられたてぬぐいを取り揃えています。お出かけのお供に、お土産にいかがですか？



てのぐい販売価格1,100円～

太宰府天満宮参道内
てのぐい家

<http://www.kasanoya.com/tenogoiya.html>



TOWN 太宰府天満宮 [お問い合わせ]太宰府天満宮社務所 092-922-8225(9時～17時)

夏の天神まつり

7月24(日)・25(月)

毎年夏越祭・誕生祭の両日、道真公の御誕生をお祝いするとともに、茅を束ねて和にした「茅の輪(ちのわ)」をくぐりぬけることで、悪い病気や事故にあわず無病息災を願う「茅の輪神事」が執り行われます。



神幸式大祭

9月21(水)～25(日)

太宰府天満宮で最も重要なお祭りである「神幸式大祭」が斎行されます。菅原道真公の御神徳を称え、国家の繁栄と五穀豊穰を願う秋祭りです。22日(木)夜は道真公の御神霊を奉安した御神輿がかって道真公のお住まいであった榎社まで、23日(金・祝)は榎社より御本殿まで御神幸がなされます。巫女による優美な神楽、道真公の御神霊をお慰めする千灯明など、秋の風物詩として地元の方々にも親しまれています。



神幸式大祭

- 9月21(水) 神幸式始祭
- 9月22(木) お下りの儀
- 9月23(金・祝) お上りの儀
- 9月24(土) 古式献饗祭
- 9月25(日) 例祭・千灯明

わたしたちの

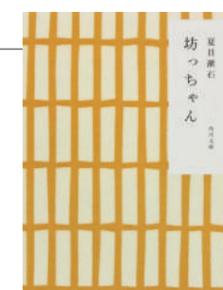
推薦図書

学芸員 一瀬 智さん オススメ



『坊っちゃん』

夏目漱石 KADOKAWA/角川文庫
※カバーの絵柄は(株)かまわぬのでぬぐい柄を使用しています。
主人公ほど正義感と根性と腕力は無いですが、単純で気が短いところに親近感。爽快な最後はもちろん、しばらく前に訪れた松山と道後温泉も思い起こされて楽しかったです。



JOIN OUR SUPPORTING GROUP

「九州国立博物館賛助会」
会員募集のお知らせ

「九州に国立博物館を!」という100年の悲願を叶える形で、国内4番目の国立博物館として2005年に誕生した九博。そんな九博を応援していただいている皆さまの会員組織が「九州国立博物館賛助会」です。皆さまからいただいたご支援は作品収集、教育普及活動などさまざまに有効活用させていただきます。

[お問い合わせ]九州国立博物館 総務課 092-918-2842